

## 食育推進ボランティア研修会の開催

**取組主体:** 愛知県

**実施時期:** 平成 24 年 6 月 26 日 (火)

**実施場所:** 愛知県東大手庁舎

**対象及び参加人数:** 食育推進ボランティア、市町村担当者 他 199 名

**[取組の内容]** キーワード : 食育推進ボランティア、研修会、養鰻業、食育教材

愛知県は、地域に根ざした食育の取組を推進していくため、愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の支援を行っています。その一つとして、平成 24 年 6 月 26 日に食育推進ボランティアの資質向上を目的に研修会を開催しました。

今回の研修会では、食の生産現場から食卓まで一連の流れを理解できるように、「さかな」をキーワードにした研修内容にしました。

第 1 部では、本県の養鰻業をもっと知っていただくため、一色うなぎ漁業協同組合の山本浩二参事より、「ウナギの生産現場から食卓まで」と題して、シラスウナギを獲るところから、餌やり、養殖池の管理、ウナギの加工について、写真を用いて分かりやすく説明していただきました。

第 2 部では、NPO 法人食生態学実践フォーラムの足立己幸理事長より、「魚と人間と環境の循環～『さかな丸ごと探検ノート』の活用に向けて」と題して、「さかな」を例にした教材『おさかな丸ごと探検ノート』を活用した食育推進活動の方法についてお話いただきました。



### [活動の成果、今後の課題]

実際に、養殖現場で働いている山本さんのお話により食育推進ボランティアさんたちは興味津々で、「ウナギがどのように育てられ、食卓にのぼるのかの過程が具体的に分かりました」「生産者の大変さがよく分かりました」などの意見が聞かれました。また、探検ノートに対しては、「食の全体を考えることが大切だということを知った。探検ノートを見て、楽しみたい」との感想が聞かれました。

より良い食生活のためには、食の背景や全体像を知ることが大切です。県では食育推進ボランティアさんの育成、活動支援のため、今後もこのような取り組みを続けていきたいと考えています。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】   |                     |
|-----------|--------|---------|----|--|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 |  食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |  |                     |

## あいち食育いきいき検定2012を実施しました

**取組主体:** 愛知県

**実施時期:** 平成24年6月19日(火)～  
平成25年3月9日(土)

**実施場所:** ウェブサイト

**対象及び参加人数:**

**[取組の内容]** キーワード：食育検定、インターネット

県民の皆さんに食に関する知識や関心を深めていただくため、今年度で4回目となる、インターネットを利用した食育検定「あいち食育いきいき検定2012」を実施しました。

昨年度に引き続き、サマー、オータム、ウインターの3期に分けて実施したほか、今年度は、新たに食卓の話題になる、楽しくなるような問題を追加しました。また、近年利用が広がっているスマートフォンでも受検できるようにし、より多くの方が楽しんで知識を身につけられるよう工夫しました。

さらに、「中央卸売市場本場 2012ふれあい市場まつり」、「あいちの農林水産フェア」などでおためし受検(デモンストレーション)を行い、多くの方に参加して頂きました。

なお、3期の受検者数は15,823人、合格者数は7,712人、合格率は48.7%でした。

### 《実施状況》

サマーチャレンジ：6月19日から9月9日(重点出題テーマ：体)

オータムチャレンジ：9月19日から12月9日(重点出題テーマ：心)

ウインターチャレンジ：12月19日(重点出題テーマ：環境)



### [活動の成果、今後の課題]

今年度は、小学校、中学校、高校、大学などの授業でも実施され、多くの方に受検して頂きました。

受検者からは、「もっといようをとったほうがいいと思った(小学生 男性)」、「食の文化や歴史についてはなかなか知る機会も少なく、今回の検定を通して少し知れたのでよかったなあと思います。(大学生 女性)」などの感想が聞かれました。

今後も、多くの方に受検していただき、食に関する知識を深めてもらいたいと思います。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 海部地域食育推進ボランティア交流会を開催

**取組主体:** 愛知県

**連携団体:** 食育推進ボランティア等

**実施時期:** 平成 25 年 2 月 5 日 (火)

**実施場所:** 津島市 (海部総合庁舎)

**対象及び参加人数:** 海部地域食育推進ボランティア、海部地域食育推進支援会議構成員 32 名

**[取組の内容]** キーワード : 食育推進ボランティア、交流

愛知県海部農林水産事務所では、海部地域の食育ボランティア同士の情報交換を行い、食育推進ボランティア同士や他団体との連携による効果的な食育活動を推進するため、愛知県海部総合庁舎で「海部地域食育推進ボランティア交流会」を開催しました。

交流会では、食育推進ボランティアが所属している 5 つのグループから日頃の活動状況を報告してもらいました。津島市健康づくり食生活改善推進協議会は、幼稚園で実施した「食まるファイブ」を用いた食育活動で使用する衣装や小道具をみせながら報告するなどの工夫もあり、とても参考になりました。

意見交換では、料理教室の際の材料について、地元のもののできるだけ集まるための工夫方法や食育活動を広げるための方法など、活発な意見交換ができ、今後の食育活動の取り組みに参考になる交流会となりました。



### [活動の成果、今後の課題]

今回の交流会を開催した結果、平成 25 年度には JA あいち海部と食育推進ボランティアで連携事業に取組むことや、来年も同時期に交流会を開催し、意見交換等を行うことなどが決まりました。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 食育教材「あいちの食育マップ」制作

**取組主体：** 公益財団法人愛知県学校給食会

**実施時期：** 平成 24 年度

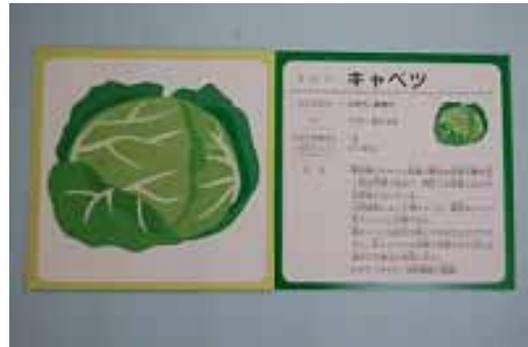
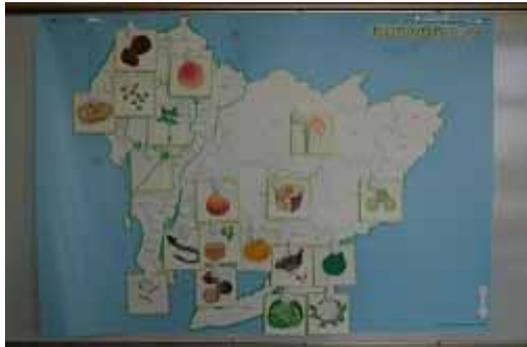
**対象及び参加人数：** 愛知県内小中学校栄養教諭・学校栄養職員

**【取組の内容】** キーワード： 食育教材、地産地消、栄養教諭・学校栄養職員

学校における食育支援活動を側面から支える取組として、栄養教諭・学校栄養職員を委員とする食育支援検討委員会を設置し、食育支援のための教材「あいちの食育マップ」を制作しました。

この教材は、栄養教諭・学校栄養職員が愛知県内の地場産物の食育指導の際に使用していただくために作成したもので、子どもたちが楽しんで理解できるよう工夫が凝らしてあります。

内容は、A0サイズの愛知県地図と全国生産量の高い地場農水産物の食品カード 54 品目、指導例等が収められています。また、食品カードの裏面には主な生産地（市町村）、全国順位(シェア)、旬、特徴等が明記してあり、指導しやすい教材です。



### 【活動の成果、今後の課題】

愛知県内の小中学校の栄養教諭・学校栄養職員全員に配布することにより、より充実した食育指導ができるようになります。今後は、「あいちの食育マップ」をさらに活用できるよう愛知の伝統野菜のカードや地場農水産物を使用した献立カードなど、さらなる充実を図ります。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## みんなで作って食べるとおいしいね「お母さんいつもありがとう」

**取組主体:** 半田市立半田幼稚園  
(愛知県国公立幼稚園長会)

**実施時期:** 平成 24 年 15 月 ~ 平成 25 年 1 月  
平成 24 年 12 月 13 日 (木) 親子昼食会

**実施場所:** 半田市立半田幼稚園

**対象及び参加人数:** 全園児 111 名 親子昼食会 年長組親子 41 組

**[取組の内容]** キーワード : 幼稚園児・保護者、農作業体験、調理、試食、講話

半田市立半田幼稚園では、食育年間計画を学年別に立て「栽培・収穫・料理・試食」を一つの流れとして行っています。また学期ごとに子どもの反応や教師のかかわり方について話し合いをしています。

夏野菜や冬野菜を栽培する中で、植え付けから収穫するまでの間に世話(水やり・草取りなど)をする大変さや大切さを経験させ、野菜にも「命」があることを知らせ、食事を通して野菜の命をいただいていることが理解できるようにしてきました。また、収穫した野菜を「ちぎる、切る、ゆでる、焼く、煮る」などの料理をして食べました。この中で素材の味を知らせるため、生のまま食べたり、料理する時は薄味にしたりするようにしました。自分たちで育てた野菜は、食べる時も大切に食べようとする姿が見られ、嫌いな物も友達に励まされ、食べられる子が多くなりました。年長児は、毎日食事を作ってくれるお母さんへ感謝の気持ちが強くなり、「自分たちが作った野菜料理を食べてもらおう」と話がまとまり、お母さんたちを招待し、自分たちが栽培したトウガンやハクサイ、ダイコンなどを使って「野菜汁」を作りごちそうしました。親子ともに笑顔いっぱいの昼食会になりました。



### [活動の成果、今後の課題]

父親も食育に参加していただきたいと考え、父親参観日に、「楽しく食べて心と体を育てる食育」の演目で名古屋短期大学小川雄二教授の講演会を行い、100名を超える父親の参加がありました。食育に対する父親の大切な役割は「何でもおいしく食べている姿を見せること」であるとの話を聞くことができました。また、野菜の働き、食べ方なども栄養教諭や栄養士から親子で話を聞きました。この中で自分の体が食べた物でできていると言われびっくりしている子もいました。今年度、幼児が料理に例年以上にかかわる中で、食事を用意してくれるお母さんに感謝の気持ちが起き「ごちそうしたい」という気持ちが高まり親子昼食会を実現することができました。これからも教師として子どものつばやきに耳を傾け、食に関心をもてるように子どもたちにかける言葉を考え、援助していきたいと思えます。また、体作りだけでなく、心の育ちを育む食育の活動を家庭と共に続けていこうと思っています。

| [ライフステージ] |        | [取組の場面] |    | [プランの取組体系] |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 農業経営士が食による心と体のケアを学ぶ

**取組主体:** 愛知県農業経営士協会

**実施時期:** 平成 25 年 2 月 20 日 (水)

**実施場所:** 名古屋市 (ウインクあいち)

**対象及び参加人数:** 愛知県農業経営士協会役員 17 名  
愛知県農村生活アドバイザー協会役員 2 名

**[取組の内容]** キーワード : 農業経営者、異業種交流会、食生活、勉強会

愛知県農業経営士協会(知事認定の優れた農業者の団体)は、農業経営者としての視野を広げるため、毎年、様々な分野から講師を招いて異業種交流会を実施しています。

本年度は、食事カウンセラーで栄養士の笠井奈津子先生に講師をお願いしました。笠井先生は食を通じた心と体のケアの専門家として、食生活改善アドバイザーとして企業研修を行ったり、15万部を超えた「甘い物は脳に悪い」(幻冬舎)などを執筆されています。

今回は、「作り手と食べ手を結ぶ食」をテーマとして、昨日1日の食事を振り返りながら都市スタイルの食生活とその問題、食事によるストレス改善について学びました。さらに、参加者が栽培する農産物別に機能性成分の説明と消費者へのPR方法について提案いただきました。



### [活動の成果、今後の課題]

自分の栽培する農産物にどんな機能性成分が含まれるのかは知っているても、その成分が体にどう良いのか説明できる農業者は多くはありません。

今回、自分の農産物の機能性成分が、現代の食生活においてどのように有効なのか、またその伝え方について学んだことで、農業経営上も食育の指導者としても有意義でした。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 輝きネット・あいちの技人認定式を開催

**取組主体:** 農村輝きネット・あいち

**実施時期:** 平成 24 年 8 月 22 日 (水)

**実施場所:** 愛知県立農業大学校

**対象及び参加人数:** 輝きネット・あいちの技人認定者及び農村輝きネット・あいち会員 137 名

**[取組の内容]** キーワード : 輝きネット・あいちの技人、認定

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できるネット会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 24 年度は、8 月 22 日(水)に 10 回目となる認定式を愛知県立農業大学校で開催し、新たに 12 名を認定しました。認定式後、技人の先輩から活動事例を学ぶことや、食育内容をよりよく伝えるための研修会が行われました。

技人の技術の種類

- (1)地域の伝統食・郷土食・行事食等農家の食事に関する技術
- (2)農畜産物の加工に関する技術
- (3)手工芸に関する技術(わら細工、竹細工、炭焼き等)
- (4)農業生産及び作業に関する技術
- (5)その他農業・農村の暮らしを向上させる技術



### [活動の成果、今後の課題]

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 215 名になり、味噌づくりやしめ縄づくりなどを地域住民に伝えたり、小学校等で子どもたちに農産物の栽培方法や伝承料理を教えるなど幅広い活動をしています。

今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

# 農とくらしの研究発表大会2013の開催

**取組主体:** 農村輝きネット・あいち

**実施時期:** 平成25年1月25日(金)

**実施場所:** 愛知県立農業大学校

**対象及び参加人数:** 農村輝きネット・あいち会員 220名

**[取組の内容]** キーワード：農村輝きネット・あいち、伝統文化、郷土料理、活動発表大会

「農村輝きネット・あいち」は会員600名の農村女性の団体で、農村に伝わる伝統文化や郷土料理を子どもたちや地域の人々に伝承するなどの活動を行っています。

平成25年1月25日(金)、岡崎市の愛知県立農業大学校で、県内の会員が一堂に会する「農とくらしの研究発表大会2013」を開催し、事前審査した結果、上位優秀活動4グループの事例発表と表彰を行いました。

## グループ活動成果発表の結果

| 表彰名            | グループ名      | テーマ                             |
|----------------|------------|---------------------------------|
| 愛知県知事賞         | 幸田さくらんぼ    | 筆柿をたくさん消費しよう～地域特産物の付加価値化に取り組んで～ |
| 愛知県議会議長賞       | 一宮市女性農業者会議 | 地産地消から食農教育活動による地域農業活性化          |
| 愛知県農業会議会長賞     | 野草グループ     | 食を介した交流の輪の拡大をめざして～「食楽工房やそう」の設立～ |
| 農村輝きネット・あいち会長賞 | 味探検        | 地域農産物の消費拡大と活動の活性化を目指して          |



## [活動の成果、今後の課題]

この大会を通じて、グループ員の相互研鑽がなされたことにより自分たちの活動を見直し、今後の活動を充実させるよい機会となりました。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## わかりやすい健康情報に関する学習会

**取組主体:** 愛知消費者協会

**実施時期:** 平成 25 年 2 月 6 日 (水)

**実施場所:** ウイルあいち

**対象及び参加人数:** 愛知消費者協会会員 68 名

**[取組の内容]** キーワード : 学習会、栄養素の働き、食事バランス

愛知消費者協会では、ヤクルト東海の前崎芳明氏による学習会を開催しました。

学習会では、栄養素の働きは身体をつくる、エネルギーをつくる、働きの調整をするといった内容などを勉強しました。

私たちが摂取した食物等は、人それぞれが持っている消化酵素を使って分解され、吸収されること、それにより、免疫力が付き、健康な体質がつくられること、それには、バランス良く酵素が働くように、バランスの良い食事をとることが、大切であると同時に、腹八分目の食生活を心がけることも大切であると学びました。

溢れる情報にまどわされることなく、上手に利用して正しい知識を身につけることも大切だと思いました。



### **[活動の成果、今後の課題]**

愛知消費者協会は、消費者の利益を保護するため、消費者に対し情報の提供及び啓発活動、並びに意向を行政及び業界に反映し、地域住民の消費者問題の解決と消費生活の向上を図ることを目的としています。

今後も、学習会を積極的に開催し、食と環境について勉強していきたいと思えます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

# 竹下和男氏講演会 “弁当の日” が家族を救う！

**取組主体:** 生活協同組合 コープあいち

**実施時期:** 平成 24 年 10 月 4 日 (木)

**実施場所:** 刈谷市総合文化センター  
アイリス

**対象及び参加人数:** 生協組合員及び一般 183 名

**[取組の内容]** キーワード: 竹下和男氏、弁当の日、講演会

コープあいちでは、平成 24 年度愛知県地域食育推進事業助成対象企画として、『竹下和男氏講演会 “弁当の日” が家族を救う！』を企画しました。

“弁当の日” は子どもたちが自分たちでお弁当を作る取組で、竹下和男氏が香川県滝宮小学校の校長を務められていた 2001 年度からスタートしました。その後、国分寺中学校、綾上中学校でも “弁当の日” の取組を始められ、今や日本全国 47 都道府県の 1064 校が一度は “弁当の日” の取組を行っています。“弁当の日” は最近失われつつある『家族団らん』を取り戻すきっかけになるといわれ、成長力を育むと言われています。

講演会は、愛知県、愛知県教育委員会、刈谷市、刈谷市教育委員会、安城市、安城市教育委員会、大府市、大府市教育委員会からの後援をいただき、180 名を超える参加がありました。

URL : <http://www.coop-aichi.jp/member/info2/121022-162002.html>



## [活動の成果、今後の課題]

スクリーンに映し出される子どもたちの表情、作られたお弁当など、参加者すべてが竹下氏の講演に引き込まれていました。参加された方々が会場を後にする姿、誰かに頼る食育ではなく、自分自身が取り組めることを実践しようという気持ちが溢れているように見受けられました。

学校が舞台の “弁当の日” ですが、学校でなくても “弁当の日” は出来ることなども学びました。

コープあいちとして、子どもの調理技術の向上につながる活動や、親子の食育活動を積極的に行い、食育の実践につなげていきたいと考えます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 市場まつり等のイベントを活用した食育の普及啓発

**取組主体:** 名古屋市

**連携団体:** なごや食育応援隊 他

**実施時期:** 平成 24 年 10 月 28 日 (日)

**実施場所:** 名古屋市

**対象及び参加人数:** イベント来場者 27,000 人

**[取組の内容]** キーワード : イベント、市場まつり、なごや食育応援隊、普及啓発

名古屋市では、市場まつり等のイベントを活用して食育の普及啓発を行っております。

今年度も、地域で食育の活動をされている企業、団体等を隊員とするなごや食育応援隊などに働きかけ、ブースを出展するなど食育の普及啓発を実施しました。

< 例 : 10 月 28 日 中央卸売市場本場の市場まつり >

・名古屋市 健康増進課等

シールブックを活用したり、顕微鏡を使って食品の色を観察したりするなど、お子さんに食育を学んでいただきました。

・なごや食育応援隊等

座学に加えて旬の食材をその場で食べていただく体験型の食育講演会を開催したり、ハーブソルトの作成や、調味料などの匂いあて、農業体験事業の紹介、おなか元気教室などのブースを出展していただきました。



### [活動の成果、今後の課題]

市場まつり等のイベントでは、日頃は「食育」に関心のない方も多数来場されるため、「食育」の普及啓発の効果は高いと考えています。そのようなイベントで、行政だけではなく地域で食育の活動をされている企業、団体などとともに、食育ブースを出展できたことは、地域全体での食育推進につながったのではないのでしょうか。

今後もこのような機会を捉えて、また、ネットワークを活用して、積極的に食育を推進してきます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                     |
|-----------|--------|---------|----|------------|---------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                     |

## 食育番組制作「レッツ食育」

**取組主体:** 愛知県

**連携団体:** 豊田市立古瀬間小学校

**実施時期:** 平成 24 年 10 月 25 日 (木)、  
平成 25 年 2 月 4 日 (月)

**実施場所:** 豊田市

**対象及び参加人数:** 豊田市立古瀬間小学校児童

**[取組の内容]** キーワード：連携企画、小学校、学校保健委員会、食育推進ボランティア、食育放送番組

豊田市立古瀬間小学校では、1年から6年の各学年2~3名ずつから成る「レッツ班」が構成されており、毎月「レッツ活動」が展開されています。10月25日のレッツ活動では、6年生が9月20日の食育講座で食育推進ボランティアから習った内容に、クイズやゲームを交えて下級生に教えるというものでした。

豊田加茂農林水産事務所では、この活動を分かりやすく親しみやすい放送番組とするために、食育推進ボランティアの協力を得て、小学生2人がレッツ活動の内容を家族に話すというドラマ仕立ての脚本を作成しました。

小学校の放送委員会では、この脚本により、2月4日(月)に約6分間の食育放送番組を録音しました。



### [活動の成果、今後の課題]

レッツ活動については、小学6年生から、「下級生には、バランスの良い食事を取って欲しい。」というような感想もあり、教えられた下級生にとっても、6年生にとっても、食育の大切さを再認識する良い機会となりました。

今回制作した番組を様々な機会に放送することで、食育推進の一助になればと思います。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】   |                      |
|-----------|--------|---------|----|--|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 |  食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |  |                      |

# 食育推進ボランティアが展示物作成・イベントで展示し食育啓発

**取組主体:** 愛知県

**連携団体:** 市町村食育担当、  
新城設楽農林水産事務所農政課

**実施時期:** 平成 24 年 7 月 19 日(木) 7 回

**実施場所:** 新城市 他

**対象及び参加人数:** 新城設楽地域食育推進ボランティア連携企画参加メンバー10人

**[取組の内容]** キーワード：連携企画、朝食、食育展示、啓発

新城設楽農林水産事務所は、新城設楽地域愛知県食育推進ボランティア連携企画の実施内容を決める検討会を開催し、「がんばるお父さんの朝ご飯見せて」という題名で、6月の「食育月間」、「毎月19日は、おうちでごはんの日」にちなみ、6月19日前後に、管内の市町村長及びJA組合長や新城設楽農林水産事務所長のコメント付き朝食写真を展示し、食育啓発パンフレットも配付しながら食育推進を図りました。

この他にも、7月19日には、食育推進ボランティアと市町村及び新城設楽農林水産事務所農政課の担当者による協同で展示物を作成する作業を行い、8月4,5日に設楽町で開催された「食彩フェスタ」(参加者1万人)や、10月28日に新城市で開催された「新城市健康まつり」(参加者300人)、11月3日に東栄町で開催された「東栄フェスティバル」(参加者1万2千人)、11月10日に新城市内で開催された「山と水と緑の協同組合まつり」(参加者800人)において、作成した展示物の展示や食育推進のパンフレットを配布しました。



食育推進ボランティアによる展示物作成作業



イベント会場での食育展示コーナーの様子

## [活動の成果、今後の課題]

新城設楽地域の愛知県食育推進ボランティアは、横の繋がりがほとんどありませんでしたが、ボランティア連携企画の検討会を通しての展示物作成、イベントへの参加で、横の繋がりができてきました。

新城設楽地域で登録されている愛知県食育推進ボランティアは15名います。近年、高齢化が進み管内での登録ボランティア人数の減少が著しく活動ができにくくなってきています。そのため比較的若くてボランティア活動ができる新規登録者を増やすことが課題です。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                      |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | 🏠 食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                      |

## 親子バター作り教室

**取組主体:** 愛知県酪農農業協同組合

**連携団体:** 岡崎市保健所生活衛生課

**実施時期:** 平成 24 年 8 月 24 日 (金)

**実施場所:** 岡崎元気館

**対象及び参加人数:** 親子 17 組

**[取組の内容]** キーワード : 親子、バター作り、酪農家、保健所、連携

岡崎支所酪農青年女性部と岡崎保健所生活衛生課の協働事業として企画され、岡崎の酪農家の長坂さん・栗田さん・青山さんが講師となり、親子参加者 17 組を招いて開催されました。

バターの他にも、「ゴーヤ・バナナ・ミルク」や「カルピスラッシー」を作り、外では搾乳模擬体験ができる模型の「ミセスHカップさん」による搾乳体験も行いました。



### [活動の成果、今後の課題]

岡崎市保健所とのコラボする事で、会場の手配や市報での募集と受付等が大変スムーズでした。

地元の酪農家が講師となり、地元の人々に楽しい牛乳の飲み方を提案する。参加者も大変喜んでくれました。

子どもが参加という事で、調理や次の準備などに思った以上に時間がかかり、慌ただしい進行となってしまいました。次回は時間を十分取って、きざむとか混ぜるとかの体験をさせてあげたいと思います。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                      |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | 食育を支える取組   | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                      |

## 親子農業塾で食育活動を実施

**取組主体:** あいち尾東農業協同組合

**連携団体:** とにとクラブ

**実施時期:** 平成 25 年 2 月 2 日 (土)

**実施場所:** 豊明市

**対象及び参加人数:** 市内の親子 6 組 14 名

**[取組の内容]** キーワード : 農協、食育推進ボランティア、連携、親子、農業塾

あいち尾東農業協同組合が主催する「親子農業塾」において、食育推進ボランティアである「とにとクラブ」が連携して、食育活動を実施しました。

取り組み内容は、食育(特に米)クイズ、食事バランスガイドの説明、手ばかりの話、食事のマナー、おはしを使ったゲームなど、盛りだくさんの内容でした。農協から米をもっと食べて欲しいので、米に関する内容でお願いしたいとの依頼を受け、食育推進ボランティアと農協が協力して、クイズを作成しました。子供達が楽しんで食育を学べる内容になるように工夫されていました。

その後、親子農業塾の閉校式を開催し、修了証の授与、参加者の感想の発表などがありました。



### [活動の成果、今後の課題]

参加した親子は、クイズ形式で楽しく、自分達の住んでいる豊明市の米や農産物について学ぶことができました。また、食事バランスガイドや手ばかりの話、食事のマナーについても、とても興味深そうに聞いていました。「野菜や田植えができてとても楽しかった。」「色々な体験が出来て良かった。」などの感想を述べていました。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                      |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                      |

## 事業者・団体との食育推進協働事業

**取組主体:** 岡崎市

**連携団体:** 愛知県酪農農業協同組合・岡崎支所酪農青年女性部 始め 5 団体

**実施時期:** 平成 24 年 8 月 24 日 (金) 他 5 回

**実施場所:** 岡崎市内

**対象及び参加人数:** 市内の親子 17 組 39 名 始め 147 名

**[取組の内容]** キーワード : 事業者、団体、食育推進協働、親子、調理実習

岡崎市では、様々な食への興味関心をより持ってもらうために事業者及び団体と食育推進協働事業の実施を平成 24 年度から始めました。

平成 24 年度は、愛知県酪農農業協同組合・岡崎支所酪農青年女性部による親子バター作り、三栄鶏卵(株)による卵を使った実験、コープあいち・太田油脂(株)による工場見学と調理実習、岡崎市給食協会による給食の調理実習、愛知学泉大学による血糖に関する講義と調理実習を行いました。

この事業では、それぞれの事業者及び団体が各分野での取組みや知識を生かしていただくことで、お話や体験、見学、クイズ、調理実習などのたくさんの内容で、参加者が食について学習しました。



### [活動の成果、今後の課題]

この事業では、実施内容によって親子対象や大人対象にすることで、幅広い年齢層における食育推進につながっていくことが期待されます。

参加者からは普段経験できないような体験や見学ができたり、知らなかった話が聞けたりしてよかったとの声をいただきました。

親子の調理実習では子供に包丁の使い方を教える親の姿や、親の調理姿に興味津々に見ている子供の姿を見ることができ、調理に関心を持つきっかけになることが期待されました。

大人の食育では地元の工場見学の実施や調理実習によって、食の歴史や製品の作り方、新たなメニューを知ることができたとの声が聞かれ、今後の食生活の中に生かされることが期待されます。

今後は、さらなる分野の事業者及び団体と食育推進協働事業を実施していきたいです。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                      |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                      |

## 農家さんとコープあいちが食育企画で連携

**取組主体:** 知立市 **連携団体:** 食育推進ボランティアグループ・米太郎、コープあいち

**実施時期:** 平成 24 年 10 月 21 日 (日) **実施場所:** 知立市福祉の里八ツ田

**対象及び参加人数:** 幼児、児童、保護者、高齢者 延べ 177 名

**[取組の内容]** キーワード：連携、栄養バランス、野菜、食育紙芝居

平成 24 年 10 月 21 日 (日) に知立市福祉の里八ツ田で開催された「知立市福祉健康まつり」において、女性農業委員によるグループ「米太郎」と「コープあいち」の連携による「食育コーナー」の取組が実施されました。

「食育コーナー」では、バランスの良い食事や野菜の摂取量増加を目指し、食べ物の大切さを伝える「食育紙芝居」(担当:米太郎) 当日の朝食の栄養バランスをチェックする「食まるコーナー(食まると一緒にバランスチェック!!)」(担当:コープあいち) 一日に必要な野菜(350g)を選ぶ「野菜の重さ当てクイズ」(担当:市保健センター、県西三河農林水産事務所)が行われました。

特に、クイズを交えておこなわれた食育紙芝居は、「感謝の気持ち」「朝食をしっかりと食べる」などの内容を子どもたちに楽しく伝えることができ、大変盛況でした。



### [活動の成果、今後の課題]

朝食のバランスチェックでは、チェック後に「今日の夕ご飯は何? 野菜使って。」と母親にお願いする子どももおり、家庭の食事バランスの改善に向けた良い啓発ができたと思われます。

また、農業者(米太郎)と消費者団体(コープあいち)が得意分野を活かして連携することで、良い交流の機会となりました。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】   |                      |
|-----------|--------|---------|----|--|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 |  食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |  |                      |

## 美術館・図書館・レストランが食育で連携

**取組主体:** 高浜市

**連携団体:** 美術館・図書館・レストラン

**実施時期:** 平成 24 年 7 月～9 月

**実施場所:** 高浜市

**対象及び参加人数:** 各所来場者

**[取組の内容]** キーワード：美術館、図書館、レストラン、連携、食育推進

高浜市では、こども食育推進協議会を設置し、こどもの食育に力を入れて取り組んでいます。

7月から9月にかけて高浜市やきものの里かわら美術館で行われた「やなせたかしの世界展」では、子どもたちに大人気のアンパンマンとその仲間たちが描かれた絵本原画などが展示されました。

食に関する作品が多いことに着目した市立図書館では、この展示に合わせて絵本に登場する料理やおやつが実際に作れるように、こども向けの料理本を集めた「食育コーナー」を設置しました。

同時に、美術館内のフランス料理レストランOmiでは、来館した子どもたちが親子で楽しめるように子ども用メニューをリニューアルしていただきました。

芸術を入口に、読書、調理・お手伝い、共食と食育をテーマに3者が連携したことにより、幅広い子育て支援を行うことができました。

美術館とレストランの連携は、その後も継続し、各展覧会の内容に合わせた料理が提供されています。



### [活動の成果、今後の課題]

芸術、文化、料理と通常は個々で活動している美術館・図書館・レストランの3者が「食育」をテーマにしたことでつながりました。美術館で絵本を見た親子は、図書館に本を借りに行き、「食育コーナー」の本は常時、半分以上が貸出し中となるほど好評でした。多くの親子が家で料理をしてくれたことと思います。レストランでは、この活動を皮きりに各展覧会に合わせた特別メニューの提供が始まりました。

直接「食」に関わらないところも、このような食育の取り組みができることを広く知っていただき、市内の食育活動があらゆる分野で行われるようにしていきたいと思っています。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】   |                      |
|-----------|--------|---------|----|--|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 |  食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |  |                      |

## 食農体験講座「\*おとわ de 米体験\*」

**取組主体:** 豊川市 **連携団体:** 音羽米を育てる研究会、  
JAひまわり

**実施時期:** 平成24年8月30日(木)他 **実施場所:** 豊川市

**対象及び参加人数:** 市内小学校3~6年生とその保護者 計15名

**[取組の内容]** キーワード：地元農家グループ、農協、協働、音羽米、農作業体験

豊川市では、食と農への感謝の気持ちを育むことを目的に、地元農家のグループ「音羽米を育てる研究会」とJAひまわりとの協働事業として、地元ブランド米である「音羽米」をテーマにした食農体験講座を実施しました。

1日目は、研究会の講師の指導のもと、稲刈り・天日干しの農業体験を行い、音羽米の講話を聞いた後、食体験として音羽米の米粉と地元野菜を使った米粉パンケーキの調理実習を行いました。その後、地元農産物直売所（JAひまわりグリーンセンター音羽）のバックヤードと店舗を見学し、収穫した農産物がどのように販売されているか店長から話を聞き、流通についても学習しました。

2日目は、自分で刈った稲の脱穀・初摺り・精米体験を講師の指導のもとで行い、音羽米のおにぎり作りと地元農畜産物「豊川エコポーク」の啓発・試食（バーベキュー）を行いました。その後、米の流通保管施設（JAひまわりカントリーエレベーター）を見学し、お米ができるまでの流れを学習しました。



### [活動の成果、今後の課題]

参加者と生産者の間では、「お茶碗一杯のお米には何株の稲が必要か」、「お米を蒔くと稲になるのか」等の質疑応答が積極的に行われ、関心の高さがうかがわれました。稲刈り体験では、「農家の方はいつも暑い中作業されており大変」、「お米にありがたみを感じた」といった感想も聞かれました。参加した子どもたちは、自分で収穫・精米したお米を大事に抱え、嬉しそうに持ち帰っていきました。

参加者たちは、普段経験することのないお米ができるまでの一連の過程を体験することで、お米本来のおいしさを実感し、安心・安全にこだわってお米を栽培している農家への理解を深めており、食と農への感謝の気持ちを育む貴重な体験となりました。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】   |                      |
|-----------|--------|---------|----|--|----------------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 |  食育を支える取組 | 2 関係者の役割分担とネットワークの充実 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |  |                      |

# いいともあいち運動の認知度の向上に向けた取組

**取組主体:** 愛知県

**実施時期:** 通年

**実施場所:** 県内

**対象及び参加人数:** 一般県民、いいともあいちネットワーク会員

**[取組の内容]** キーワード： いいともあいち運動、農林水産業、シンボルマーク、表示

「いいともあいち運動」とは、私たちの身近にある農林水産業を盛んにし、新鮮な生産物の供給や緑豊かな環境づくりを通じて、より良い暮らしをめざしたい、そんな思いから暮らしと農林水産業の関係をもっと身近なものにしようとする取り組みです。

この「いいともあいち運動」を多くの消費者の方に知っていただくため、米、野菜などの農産物や菓子、漬物、飲料などの加工食品の商品パッケージ等に運動のシンボルマークを表示する取組を進めました。商品にはシンボルマークに加え、「いいともあいち運動（地産地消）を推進しています」などの応援メッセージも添えられており、「いいともあいち運動」の認知度向上に貢献しています。



シンボルマーク

また、11月のいいともあいちキャンペーン月間には、いいともあいちネットワーク会員（生産者団体、食品製造事業者、流通事業者）等が所有する配送トラックや社用車に、県産農林水産物の消費促進をアピールする啓発資材（マグネットシート）を貼付して、県内を走行することで、地産地消の推進や「いいともあいち運動」のPRを行いました。



シンボルマーク表示商品例



トラックに貼付したマグネットシート

## [活動の成果、今後の課題]

県産農林水産物を使った商品へのシンボルマーク表示は、87企業・団体が取り組み、339の商品（25年3月末現在）で表示され、また、車両用啓発資材によるPRでは、52企業・団体の社用車等100台にマグネットシートが貼付されました。今後も、いいともあいちネットワーク会員と連携し、いいともあいち運動の消費者への認知度向上に努め、県産農林水産物の利用拡大を進めていきます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ▲ 食育を支える取組 | 3 いいともあいち運動の推進 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                |

## 平成 24 年度「農商工連携ビジネスフェア」の開催

**取組主体:** 愛知県

**実施時期:** 平成 25 年 2 月 13 日 (水)

**実施場所:** アイリス愛知

**対象及び参加人数:** 生産者、食品会社、流通関係者等 729 名

**[取組の内容]** キーワード : 農商工連携、商談会

生産者や食品製造業者などが、愛知県産の農林水産物やその加工食品を持ち寄って情報交換や商談を行い、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「農商工連携ビジネスフェア」を開催しました(出展者数:80企業・団体)。

展示会では、県産農林水産物(米、キャベツ、ブロッコリー、セルリー、トマト、いちご、みかん、グレープフルーツ、食用小菊、食用サボテン、牛乳、メヒカリ刺身等)や、県産農林水産物の加工食品(畜産加工品(名古屋コーチン製品、猪・鹿ソーセージ、ヨーグルト)、豆腐、佃煮、漬物、味噌、みりん、清酒、菓子、麺類等)の展示・商談を行うとともに、プレゼンテーションとして、5企業・団体が自社の取り組みや商品の紹介を行いました。

また、農林水産物等輸出促進セミナーも開催され、「愛知フェア in 上海」の取組紹介や「あなたも輸出に取り組んでみませんか!」と題した講演等を行いました。



展示会の様子



プレゼンテーションの様子

### [活動の成果、今後の課題]

24年度は、情報交換や商談が一層活発に行われるよう、出展者から商談希望先の業種の意向調査を行うとともに、参加者からも申込時に商談等を希望する出展者を聞き、それらの情報を事前に出展者、参加者双方へ提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談を行っている様子が見られました。

今後も、いいともあいちネットワークを活用した農商工連携の推進などに取り組み、新商品開発や販路の開拓など、愛知県産農林水産物の利用拡大を進めていきます。

| 【ライフステージ】 |        | 【取組の場面】 |    | 【プランの取組体系】 |                |
|-----------|--------|---------|----|------------|----------------|
| 乳幼児期      | 少年・青年期 | 保幼      | 学校 | ☑ 食育を支える取組 | 3 いいともあいち運動の推進 |
| 壮年・中年期    | 高齢期    | 職場      | 地域 |            |                |

## まとめ

今回のレポートでは、特集事例を含め、「あいち食育いきいきプラン 2015」に掲げた取組体系(p.2)に基づき、129 の取組事例を紹介しました。それぞれの取組体系の特徴と課題について、以下にまとめます。

### 〈 食を通じて健康な体をつくるために 31 事例 〉



給食を通して園児、小中学生、保護者に栄養バランスを考えて食べることの大切さを知っていただく取組や、男子高校生、高齢者を対象とした調理実習、大学生に栄養バランスの優れた学食を提供するメニュー作りなど、幅広い世代を対象とした取組が多く実施されました。

一方で、食品表示の理解や食中毒の予防法を知るなどの取組が少ないため、今後は、食の安全に関する正しい知識を持ち、安全な食を選択する力を身につける取組を進めていくことが期待されます。

### 〈 食を通じて豊かな心を育むために 50 事例 〉



県民による農作業体験や生産者との交流など、食の生産や加工への理解を深め、感謝の気持ちをはぐくむ取組が多く実施されました。このなかには、園児、小学生、地域住民による農作業体験、高齢者向けの料理コンテストなどの継続した取組の他、実物の魚などを使った小学校での出前授業、東日本大震災の経験を生かした非常食作りなど、新たな取組も実施されました。さらに取組を充実させるため、従来の取組の継続に加え、食品製造現場の見学など新しい視点からの取組が期待されます。

### 〈 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために 25 事例 〉



県民に地域の特産物を知っていただく取組や、実際に特産物を使用した調理実習など、生産者や団体が主体となった取組が多く実施されました。

一方で、少年・青年期以降において食べ残しや食品の廃棄を減らす取組が少ないため、今後は、少年・青年期以降を対象に「もったいない」意識を持ち、環境に配慮した食生活を実践する取組を進めて行くことが期待されます。

### 〈 食育を支える取組 23 事例 〉



食育推進ボランティアの登録や研修、農村輝きネット・あいちの技人の認定、新たな食育教材を活用した栄養教諭・学校栄養職員の育成などの食育の推進活動を担う人材育成の取組が多く実施されました。また、通常は個別に活動している美術館や図書館、レストランの3者が連携した新しい取組も実施されました。

今後も、人材育成や連携事業によるさらなる取組の実施が期待されます。

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農林水産部食育推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 電話 052-954-6396(ダイヤルイン)

「食育ネットあいち」 <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>

表紙デザイン・監修 / 愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



Aichi Food Education Report  
2013

